

AIM中国モデルの開発について

姜 克隽, 胡 秀蓮

中国国家發展和改革委員会 (NDRC)

能源研究所 (ERI)

追悼AIM国際シンポジウム

2003年10月4日, つくば

AIM/China に関する共同研究

1994年から、中国能源研究所(ERI)はAIMチームと共同で、中国を対象としたAIM/Enduseモデルの開発に取り組んできました。

およそ10年にわたる共同研究の結果、ERIのモデル開発チームは、中国における気候変動およびエネルギー環境を対象としたモデル開発及び政策評価の分野で、中国を牽引する役割を担うようになっていきます。

共同研究を通じた活動

- 中国を対象としたAIM/Enduseモデルの開発
- SO₂/NO_x 排出目録の作成
- 中国を対象としたAIM/Localモデルの開発
- AIM-Linkageモデルの開発
- AIM/Impactの開発
- 統合評価モデルに関する東アジア国際ワークショップの開催
- 統合評価モデルトレーニングワークショップの開催
- 人材育成・学生指導

モデル開発を通じた政策決定過程への貢献

- 中国における気候変動グループにおいて主要研究メンバーとして活動
- 市及び省政府との共同研究の実施
- 中国政府の戦略的研究プロジェクトへの参加
- 専門家として様々な国際交渉への参加
- 中国における気候変動政策の策定への参加
- 中国技術開発戦略への参加

中国における研究活動への貢献

- 📄 IPACモデルの開発
- 📄 論文及び書籍の出版
- 📄 国際ワークショップ、国内のモデル開発ワークショップの開催
- 📄 IPCC (気候変動に関する政府間パネル) への貢献
- 📄 10以上にわたる関連研究プロジェクトの支援

森田博士から学んだこと (姜克隽)

- 📄 1996年に東京工業大学大学院博士課程に入学
- 📄 IPCC-SRESの計算を森田博士と実施
- 📄 1999年に博士号を授与。森田博士が授与された博士の第一号となる
- 📄 研究からはもとより、研究者としての道についても数多くのことを学んだ



东亚地区气候变化综合评价模型(IAM)国际研讨会
East Asia Workshop on Integrated Assessment Model(IAM)
1998.10.11~13北京·友谊宾馆 (Friendship Hotel, Beijing)

統合評価モデルに関する東アジアワークショップ
1998年 北京



第4回 AIM国際ワークショップ
1999年 つくば



AIMワークショップにて



第6回 AIM国際ワークショップ
2001年 つく



2003年 バンコクでの現地調査



実るほど頭が垂れる稲穂かな

2003年 バンコクでの現地調査

森田博士が牽引されたAIMとの
共同研究を通じて
中国の政策決定や研究活動は
非常に多くのことを得てきました

森田博士を中心とするAIMチームとの
これまでのあらゆる取り組み対して
心より感謝します

森田博士はいつまでも我々の中で
生き続けることでしょう